

<博士後期課程>

**重点課題演習**（1年～3年 必修・演習3単位）

保健学専攻主任 堀江 修一

**【授業の到達目標および概要】**

本演習は、地域保健学、臨床病態生化学、実践学校保健学の3領域にわたる領域横断的な「重点課題」を定め、毎年、1～2のテーマで行われる演習である。その目的は、学生の幅広い保健学の知識と情報の共有、現実的な課題への対応力の強化にある。毎年、最低1回以上、いずれかの領域から重点課題を定め、演習を行う。平成27年度は、臨床病態生化学領域の教員をコーディネーターとして「身近でありながら普遍的な課題との出会い・いかに広い視野で探求し解決するか」というテーマで、開業医や医学部の研究者、あるいは将来共同研究をする可能性のある他分野の若手研究者を招いてワークショップを含めた演習を行う予定である。

**【授業計画】**

開催時期：9月末から11月中旬

- ①～④担当教員から指示された事前演習課題に取り組む
- ⑤～⑧外部講師を加えたワークショップへの参加（積極的に議論に加わる）
- ⑨～⑫院生同士の事後演習（ワークショップの総括討論を含む）とレポート作成
- ⑬～⑮まとめ

**【授業外学習】**

前述の事前、事後演習に向けて、各人が文献講読等の予備調査を行う。

**【成績評価の方法・基準】**

出席状況、発言等にみられる内容理解、演習課題に関するレポートの評価によって行う。

**【教材】**

担当教員によって指示されたもの。

**【備考】**

なお、博士後期課程の1、2年生を対象に、毎年12月に開催している博士論文作成中間報告セミナーもこの「重点課題演習」に準じるものとする。